

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和5年12月1日(金) 開会 16時00分
閉会 16時18分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件
- ・新庁舎整備に求められる機能について
 - ・地域公共交通のあり方について
4. 出席者 小笠原委員長、渡辺副委員長、羽根委員、小林委員、浜井委員、善波委員、大沼委員、根岸議長
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 2名 事務局長、庶務課長
5. 経 過

新庁舎整備に求められる機能について 地域公共交通のあり方について

委員長

総務建設経済常任委員会を開催する。議題として「新庁舎整備に求められる機能について」と、「地域公共交通のあり方について」ということで、資料が1つは総務建設経済常任委員会の12月議会への報告の骨子と、もう1つは10月26日に中井町オンデマンドバスの視察研修に行った時のものを、小林議員にここまでまとめていただいた。その資料に基づき、本日皆さまと確認させていただければありがたい。まず先に10月26日の中井町オンデマンドバスの視察研修に関しての質疑はこの紙に記載されていて、ページ数としては6ページにわたっている。これはホームページに載せて公表する場合は質疑の個人名は取る。今日皆さんにご確認いただくために、質疑のところはまだ小笠原とか大沼とか名前が入っている。そこを整理したら、今までの開成町と壬生町に視察に行った時のものもホームページに載っており、どなたでも読めるようになっていて、同じ様に載せる形になるので、ご確認いただきたい。最後に今後についてということ先日11月22日の調査研究会の時に、皆さまにご意見いただいたものをある程度まとめ、今後について私としては報告、感想という感じなのかと思うが、今までの2つが今後についてという形で書いてあり、このように記載させていただいた。今後についてということ議事録に残すために、読ませていただく。1番の問題は多額の費用がかかり、1回の利用料に換算すると3,800円かかるとのことで、タクシーを利用してもらった方が移動もしやすいし、安くすむ。持続可能な仕組みではない。中井町の地形的な交通空白地帯がある課題と、二宮町の9キロ平方メートルでの費用対効果を考えると、二宮町には難しい。ただ運用については試行する中で、1度は日赤病院行きのルートは廃止したが、議会の要請で復活した経緯は興味深く、二宮町の問題として大型病院がなく、徳洲会大磯病院の利用に際し運用方法を参考にしたい。細かいところだが予約の電話対応を町の職員が行っていることも、わが町ではできないのではないかと考えていて、断言するのではないが、できないの

ではないかというふうな動きである。報告書に関しては、これを元にホームページにもう少し整理して載せていただくということによろしいか。壬生町も開成町も職員の協力があってできたもので、担当課を連れて行った。今回は私たちオリジナルということで願います。それから12月議会への報告である。9月議会が終わってからの限られた期間の中、特に中井町に視察に行くまでは、地域公共交通についてのことを話し合うのも中井町を見てからという形になって、調査研究の回数が減ってしまったことについては私からお詫び申し上げます。総務の委員会の開催状況については、地域公共交通について視察は中井町に10月26日、調査研究会は11月22日に行った。また新庁舎の機能についてということで、二宮町駅前複合施設基本構想検討委員会に正副委員長がオブザーバーとして出席し、委員全員が傍聴した。これが第1回は9月5日、第2回が10月31日、第3回が11月30日ということで、昨日皆さんにも傍聴していただいた。議会への報告について読ませていただくと、9月議会終了以降、地域公共交通の調査研究についてオンデマンドバスの可能性を探るため、先行運用している中井町に視察を行った。病院への移動、バス廃止地域への対応、AIの活用などの優れた点を学んだが、多額の費用がかかるため二宮町へそのまま導入することはできないというのが、委員全員の感想であった。松田町のAIデマンドバスが今年10月から導入されたため、11月21日に委員長が下調べに松田町に聞き取りに行った。地域の状況によって地域公共交通のあり方も多様である。その翌日の22日の議会全員協議会で、二宮町地域公共交通計画(案)が示され、デマンドバスの検討は一旦止まることとなった。それをふまえ当委員会では、タクシーを活用した住民移動の確保のため、タクシー券配布とその基準の見直しを含めた施策の可能性を、今後研究していくこととなった。また神奈川中央交通バスの減便を止める対策も合わせて調査研究していく。引き続き、継続調査として新庁舎の機能と地域公共交通のあり方について提案するというので、12月議会の最終日に次の継続調査に向けての報告を、このような形にしたいと思っているがいかがか。

(「異議なし」との声あり)

委員長 それではこのような形で進めさせていただく。今日は正式な委員会ということで他にこの場で確認したいことがあれば、挙手をお願いします。

大沼 今後のこの委員会の進め方だが、町もタクシー券を利用して考えていくような傾向にある。その中で、先日も公共交通計画の案の中で出ていた交通空白地帯みたいなそういう交通難エリアというものが、距離で測っていくのか、もしくは坂があるところと同じような、エリアの設定でよいのかどうか等いろいろ問題がある。議会だよりとかの委員会のページの中に、その言葉を入れさせていただき、町民の方から意見を議会で募集するような、そのような取り組みをしていただけると、町民の声が議会の方へ入ってくるかと思うので、その辺りご検討いただけたらよいかと思う。

委員長 良い案だと思うが、限られた紙面の中で、どこまでご意見をいただけるのが大変疑問で、前回も箇条書きでびっくりしてしまうぐらいしか書かせていただけなかった。そういうやり方もあるのだが他の委員会で話が出た時に思ったが、委員会独自で町民の意見募集のための報告会のように、今までも会を開

いてきた。議会基本条例を作る時、町民の方はどういうふうにか考えるかということ委員会、3か所ぐらいでやった。町民センターでも開催したが、ほとんど人が来なかった。あとは上町のところでもやらせていただいた。委員会でチラシを作って貼って、意識のある方に集まっていただくということを検討していくことも有効ではないのかというふうにか考えるので、また調査研究しながら相談させていただきたいと思うがいかがか。

大沼 今の委員長のお話の内容であれば、例えば議会だよりとかで周知をして、交通空白地帯というか交通難エリア近くの集会所で、何か所かに分担してというか日時を変えてでも、そういう意見聴取の機会が作れば良いと思う。

羽根 全く同じことを委員長にもメールでお願いした。町民の方から地域公共交通について話をする機会がほしいということで、ぜひそういう機会を設けてほしいということ、また議員の人とも話をしたいということも私の方にも入っている。それぞれの地区によって抱えている問題は違うと思うので、そこを1つ1つ回ってもいいと思うし、いろいろなお話を伺うのがいいのではないかなと思う。ぜひそのような機会の設定をお願いしたいと思う。

渡辺 時間はあまりないが、パブコメがいつまでだったか。終了までに少なくとも下町1か所ぐらいは開催できないかなと。パブコメ中、意見があってもなかなかパブコメを書く人がそんなにいないので。

委員長 今、渡辺副委員のお話の中で、パブコメの締め切りの前に1回は問題意識のある地域で、1回話を聞かせていただいたらよいのではないかというお話があった。議会報告会を実は下町でやりたかったところが、老人憩の家が改修中で使えなかったの、そちらの方で1回やらせていただくのもよいのではないかというふうにか考える。

善波 今の意見に賛同するが、交通弱者とか交通難民のニーズが分からない。この前委員長が話していたように買い物に行けないのか、病院に行けないのかとか、どういう問題があるとかそういうものを直に町民の方と触れ合い、そういうことを調べて、どういうことを町民の方が要望しているのかと聞きたい。この間の説明会によると、平面300mのところは大丈夫と言うけれど、先ほど大沼委員が言ったように平地の300mと山坂がある300mと違うし、そういうところも掘り下げていき、どういうところに何が必要なのかを分析して、対応策を考えていきたいと思う。

委員長 形にしていくために努力したいと思うので、ぜひお願いする。町民の方の生の声をしっかり受け止めたい。

大沼 今回我々が取り組んでいるこのテーマというのは、障がい者とか、移動ができないという方ではなくて、移動するのに不便な方に対しての部分になる。ですから、無償の対象という訳ではなくて、有償で補助をするような形のタクシー券、そういうものの事業を町に提言していくことが、正しいやり方なのかなというふうにか思っているところである。そう考えた時に有償だった場合ポイントを作るのは難しいが、そのあたりも皆さんで共有して、何かいいアイデアを出して

いただけるとよいかと思う。

委員長

今議長から、もう少し説明してほしいとのことだったので大沼委員お願いする。

大沼

対象というのは、今回は不便だと感じられる方なので、年齢とかそういうものの対象を絞るものではないというふうに思う。金額的にどの程度の補助、どういうものを求めているのかというところの部分をうまく聞き取りができれば、我々の情報としては充実する。そういうふうに思っているので、皆さんの知恵も借りながら、よい案を出していただけるとよいと思うので、お願いしたい。

委員長

実施するにあたってただ漠然と聞くのではなくて、こちら側もいろいろなお聞きしたいことを整理して、そういう集会を作っていくとよいということですね。地域公共交通のパブコメの締め切りが12月25日と分かったので、そこまでに組み立てるのは非常に困難だが、1回はやってみようと思うのでぜひご協力いただきたい。あとは調査研究会の時にいろいろ情報交換したいと思うので、正式な委員会はこれにて終了とさせていただきます。

閉会 16時18分